



地球暮らし

地球温暖化防止と
環境共生住宅を考える

地球温暖化って事実?・・・という問題提起

皆さんあけましておめでとうございます、さつまホームの瀧川です。本年も『地球暮らし』をよろしく
お願い申し上げます。早々に重たい話で恐縮ですが、昨年11月、英国の地球温暖化の研究者が
書いた電子メールが流出し、地球温暖化に懐疑的な人々の間で、「温暖化の脅威が誇張されてい
た証拠なのではないか」との声が上がり、様々な情報や意見が噴出しています。彼らのデータを基
に、4年に亘り温暖化問題について情報発信をしてきた『地球暮らし』にとっても大きな事件です。



「クライメートゲート」～温暖化問題の根幹を揺さぶる事件です～

かつて米国内で起きた「ウォーター
ゲート事件」というスパイ事件をも
じって、「クライメートゲート」という造語まで
飛び出した今回の疑惑。発端は、世界有
数の温暖化の研究機関、英イースト・アン
グリア大学 (East Anglia University) の気
候研究ユニット (Climatic Research Unit、
CRU) のネットワークにハッカーが侵入し、
フィル・ジョーンズ同所長など研究者たちが
書いた数千通の電子メールが、ウェブサイ
トに掲載された事でした。ジョーンズ所長
が書いた個人メールの1つは、「気温低下
を隠すため」気温の統計データに手を加え
た「トリック」が使われたことに言及してい
るとされ、温暖化の科学的根拠に疑問を投
げかけるものだと注目浴びました。

ジョーンズ所長らは流出した電子メール
が本物であることを認めたくえで、疑惑に
ついて11/24に声明を発表。「trickとは新
データの追加を意味する言葉で、ごまかし
ではない」と釈明しています。

さらにメールでは、2001年にまとめら
れたIPCC第3次報告書の代表執筆
者のひとりだったジョーンズ所長が、温暖化
人為説懐疑派の学者に対して「報告書に
論文を掲載しない」「論文誌の編集からは
ずす」「CRUのデータにアクセスさせない」と

いった圧力を加えたことが綴られていま
す。また、メールと共に暴露された、気温の
変化を計算するコンピュータプログラムの中
に、非常に恣意的なデータ操作を行うス
クリプトが見つかったそうです。今回のメ
ール流出はハッキングでなく、データ捏造に
反発したCRU内部の者が目前のCOP15を
揺さぶることを目的に情報をリークしたの
ではないかとの見方も出ています。

ところがこの問題は、欧米での異常な
程の盛り上がりと裏腹に、日本国内
ではほとんど報道されていません。静かす
ぎて逆に疑問が湧いてきます。温暖化対
策を国策とし、また外交上の武器とも位置
づける日本・民主党にとっては不都合だか
らでしょうか?あるいは、エコ関連産業や環
境絡みの第3セクター等に大打撃を与える
ことを恐れているのでしょうか?この事件の
影響かどうか、12月の「COP15」は大変な
不調に終わりました。何やら各国が自らの
国益を優先して馴合いで行動した感があ
り、もやもやとした印象が残りました。

地球温暖化は緩やかにそして着実に
進行するものとされています。ですが
それが本当に進んでいるのかどうか、先
進国日本の(特に都市部に住む)人にと
っては実感としてわかりにくいのが普通で

す。ニュースなどのメディアを頼りに判断す
る部分が大きく、世界中が共有してきた
データがもしも捏造であったなら、大きな憤
りを覚えます。

しかしながら、地球の気候が異常をきた
していることを示す、改ざんのしようが無い
「事実」もたくさん報告されています。例え
ば、流水や氷河の減少、湖沼の後退、南
極の気温上昇や棚氷の崩壊加速など。付
け加えるなら、温暖化とは気候の差がより
大きく、激しくなることであり、寒い地域は
より寒くなるという影響もあり得るのです。

私達の関心事は、このような異常が人
類の活動にどの程度依存するの
かです。確かに気候変動の原因には、太陽
の活動や地殻変動もありますし、地球の長
期的な気候変動サイクル(氷河期 間氷
期 氷河期)上の、今は気温上昇期だから
という意見もあります。

この答えを完璧に出せる人はいないの
かも知れませんが、少なくとも人間による森林
破壊や有害物質の排出が、環境や生態系
を狂わせてしまった事は事実で、異常気象
もその延長線上にあるのだと思います。今
後発信される情報も要注意ですが、何より
私達自身の信念に基づいて、この問題を
考え取り組んで行きたいものです。

トピック

熱帯林3分の2消失の危機

国際研究チーム「陸域炭素グループ(T
CG)」が発表。発展途上国で森林保全対
策を取らないと、今世紀末までに、アジア
やアフリカ、南米に現存する熱帯林の2/3
近くが破壊され、現在の世界の排出量の
20年分に当たる量のCO2が大気中に放
出されることになるとの試算。

日本に「化石賞」COP15で環境保護団体

COP15にて「気候行動ネットワーク」が
地球温暖化対策に後ろ向きな国に贈る
「化石賞」の3位に日本などを選出。発展
途上国の温暖化対策への支援金約150
億ドルの大半はODAなど既存の公的資金
の「付け替え」にすぎないとの理由で。

情報リンク

Hadley CRU Files

<http://www.megaupload.com/?d=003LKN94.htm>

記事中の問題の約1000通の電子メールをファイル化したもの

地球温暖化めぐる歪曲と暗闘(1)

[http://](http://www.tanakanews.com/091202warming.htm)

www.tanakanews.com/091202warming.htm

フリーの国際情勢解説者、田中宇(たなかさかい)氏の分析記事

お知らせ バックナンバーをプレゼント

多数のお申込みありがとうございます。
引き続き『地球暮らし』全バックナンバー
プレゼント実施中です。右記のEメールか
FAXまでお申込み下さい。

編集後記 救うのは「信念」だと思います

新年なので、もっと楽しいテーマで書きたか
たんですが、今回はお許し下さい。私見です
けど、「古代の化石燃料をバンバン掘り返して
炭素を空気中に開放するから気候がその時代
に戻るのだ」という仮説はやはり正しいと思
います。私は今年も「脱炭素社会」を目指
します。

このニュースレターに対するご意見、ご要望、投稿をお
待ちしております。

Eメール: info@satsumahome.com

FAX : 06 - 6855 - 7700

郵便: 〒560-0053 豊中市向ヶ丘3-12-11

㈱さつまホーム企画室

さつまホームは地球温暖化防止に取り組んでいます

